

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築施工実習 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名	施工専攻		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	2級建築施工管理技士学科テキスト（2019年度）						
担当教員情報							
担当教員	赤石 辰夫 、 河津 修平			実務経験の有無・職種	有・施工管理 一級建築施工管理技士		
学習目的							
建築の各種国家資格試験のうち施工分野の試験に対応した工程管理・安全管理・品質管理について、実習や現場見学を交えながら体験的に理解を深める。また、建築を作る上でよりデザインや丈夫さに秀でている物を精度良く作成することで総合的に優秀な作品とすることをモデル製作を通して学ぶ。さらに、各自が設計製図で進めている作品に対し、それぞれが足場計画や基準階の施工図などとテーマを定めて追加課題を作成し、完成させることが目的である。							
到達目標							
2年間で学んだ建築施工の技術や知識、体験的に感じたことについてそれらを形として表現することが必要である。その成果物は一人ひとり異なるものであり、自分で決めて自分の表現で形にすることを実践する。また、建築として造られる物はその強さや耐久性なども必要でありデザインとしても優れていることが求められるが、実現するのは施工の技術なので精度良く加工することや特性を理解して組み立てること、そして必ず期限までに完成させることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	前半は、全員で施工管理の各種項目について学び、さらに強さ・美しさを兼ねた軸組構造体を作成し強度を確認する演習を行う。後半は、各自が進めている設計課題を教員と協議したうえで施工に関する課題を追加し、その指導を受けながら成果物を完成させる。						
注意点	通常の授業形態と違い、設計製図の追加課題は一人ずつ異なった成果物になるので、毎回の授業で教員の指導を受けて次回の授業でチェックを受けることを必ず実施する。また、完成するまでの計画を立て、進捗状況のチェックも行う。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	60%	課題の成果物について総合的に評価する				
	進捗状況	20%	作業が遅れ無く進んでいる事を評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	工程管理と安全管理			全体工程表・月間工程表・週間工程表、安全計画・指示事項			
2回	品質管理			工事写真（概要と撮影要領）			
3回	施工とデザインと強度 1			軸組構造体の検討用モデル制作			
4回	施工とデザインと強度 2			検討用モデルの載荷テスト／実大モデル制作			
5回	施工とデザインと強度 3			実大モデル載荷テスト／改善案提案			
6回	現場見学 1			工事現場見学（仕上工事）			
7回	建築施工の実践 1			設計製図課題の仮設計画や施工図の検討			
8回	建築施工の実践 2			追加課題の検討および指導			
9回	建築施工の実践 3			追加課題の検討および指導			
10回	建築施工の実践 4			追加課題の検討および指導			
11回	建築施工の実践 5			追加課題の検討および指導			
12回	現場見学 2			工事現場見学（工事全般）			
13回	建築施工の実践 6			追加課題の作成及び指導			
14回	建築施工の実践 7			追加課題の作成及び指導			
15回	建築施工の実践 8			追加課題 完成 提出			